



Title	動物看護師のストレスとうつ
Author(s)	木村, 祐哉; 山内, かおり
Description	要旨の出典: 『日本動物看護学会 第18回大会 抄録集』 pp. 20-21 プレゼンテーション資料、要旨とも、学会発表後、解析結果に訂正を加えたものである
Relation	日本動物看護学会 第18回大会. 平成21年7月26日. 東京都.
Issue Date	2009-07-26
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/39724
Type	conference presentation
File Information	kimura_jsan09-ppt_revise.pdf, プレゼンテーション資料



動物看護師のストレスとうつ

○木村祐哉¹⁾，山内かおり²⁾

1) 北海道大学医学研究科医療システム学分野

2) OFFICE AniPro

背 景

- 一般に医療従事者は過度なストレスに曝されていることが知られている
- 労働環境に関連したストレスは労働者のうつ発症に影響を及ぼす
- これまでに労働環境やストレスが動物看護師に与えている影響を調べた報告はない

この研究の目的

- うつに悩む動物看護師がいることを確認し、
- 労働環境やストレスとの関連を解明する

対象と方法

- 対象：現役の動物看護師 32名
- 期間：2008年10月27日～2009年3月10日
- 方法：Web上のアンケートフォーム（あるいはそれをプリントアウトしたもの）への回答を依頼
 - プロフィール（性別、年齢...）
 - ストレス要因の有無（19問） ※抄録参照
 - STPH-15（うつ指標）

まずはプロフィールを記入してください。

性別

☐ 男性 ☐ 女性

婚姻状態

☐ 未婚 ☐ 既婚

年齢

歳

勤続年数

年

勤務時間

1日 時間

最終学歴

☐ 中学校 ☐ 高校 ☐ 動物看護師養成コース(専門学校/短大/大学) ☐ その他進学

それでは、以下の設問にそれぞれ回答してください(全部で35問あります)。

Q1.業務の中に得意なものがある

☐ はい ☐ いいえ

Q2.勤務時間内に食事する余裕がある

☐ はい ☐ いいえ

Q3.休職は足りている

☐ はい ☐ いいえ

Q4.現在の給与は自分の能力に対して正当な額だと思う

☐ はい ☐ いいえ

Q5.セミナーや学会に参加する機会がある

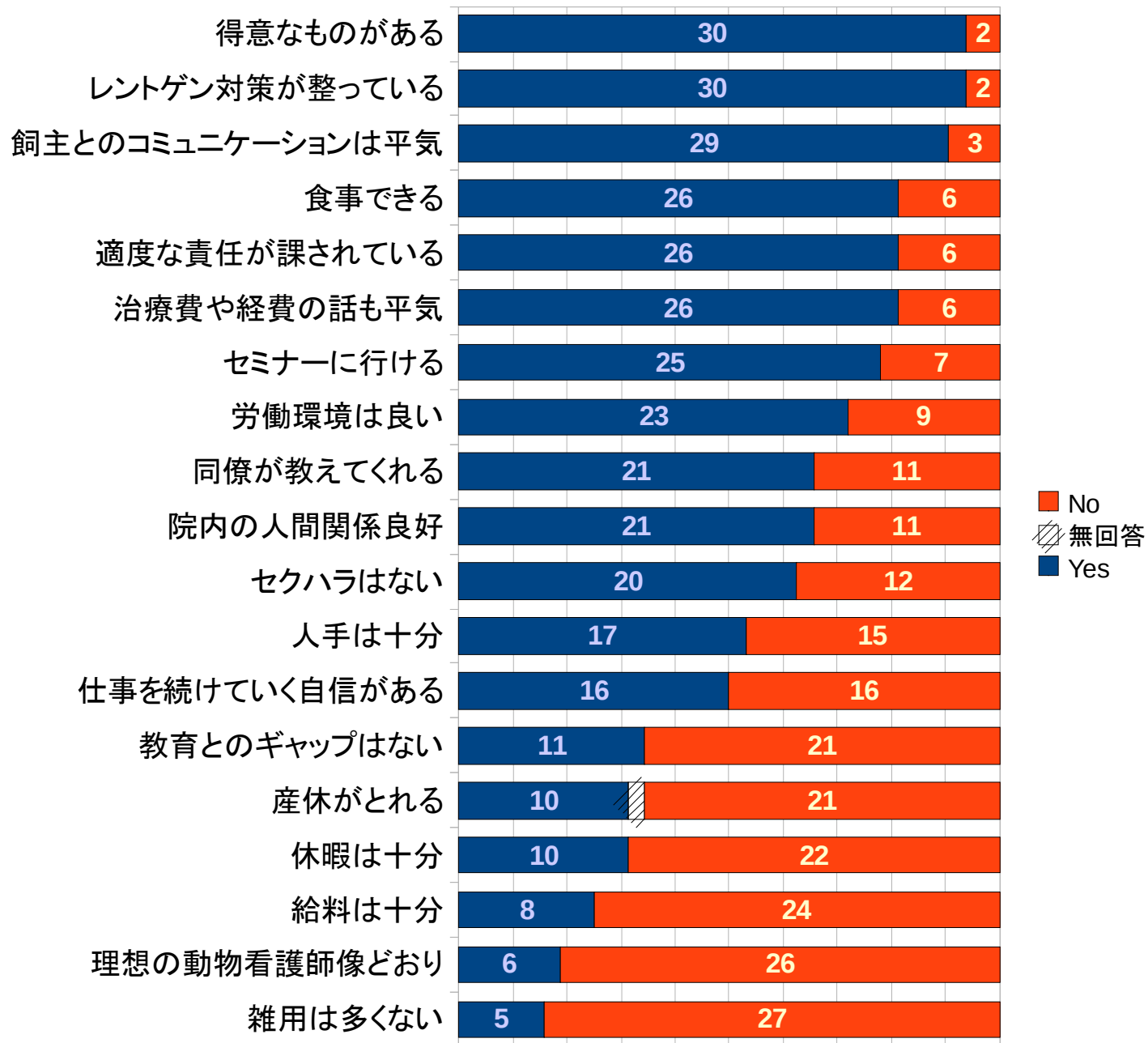
☐ はい ☐ いいえ

(つづく)

結 果

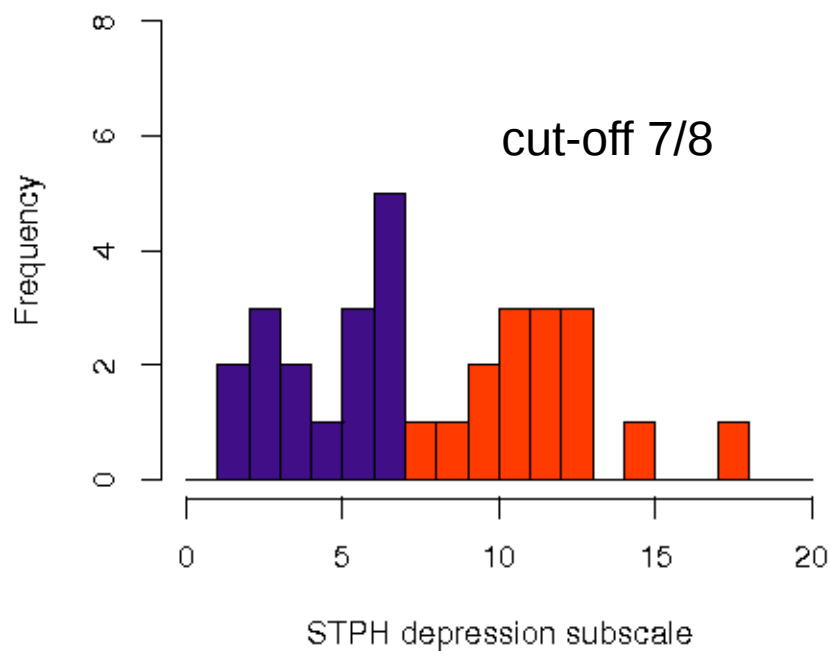
- 性別 男性:女性=1:30
- 婚姻状態 未婚:既婚=24:7
- 学歴 動物看護師養成コース:その他進学=27:4
- 年齢 平均27.9歳 (21~36歳)
- 勤続年数 平均6.1年 (1~15年)
- 勤務時間 平均10.7時間 (5~14時間)

※欠損値のあった1名は除外した

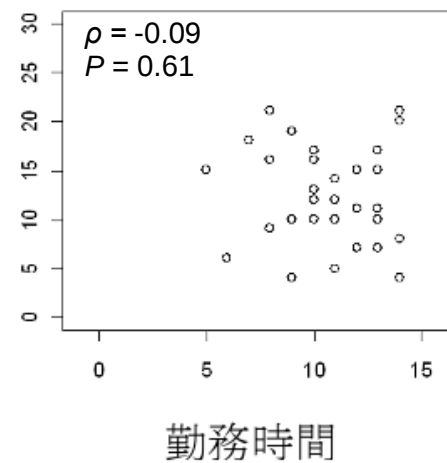
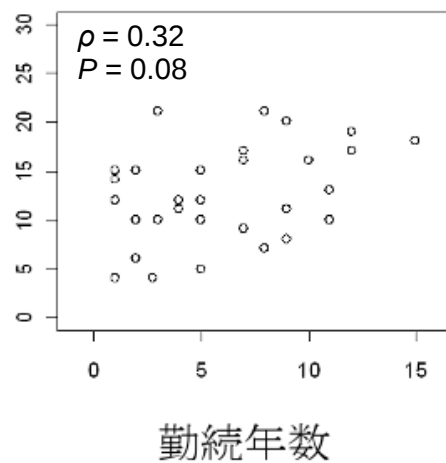
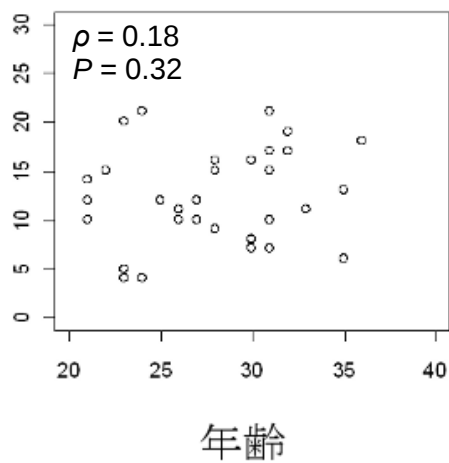


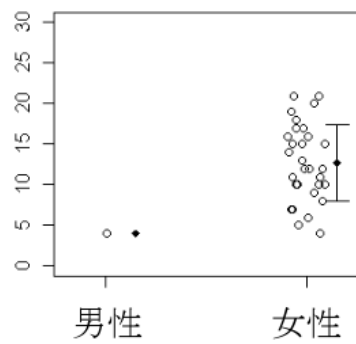
うつ指標の解析

- STPH-15陽性 15/31 (46.8%)

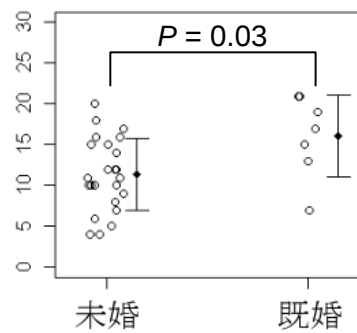


統計学の解析

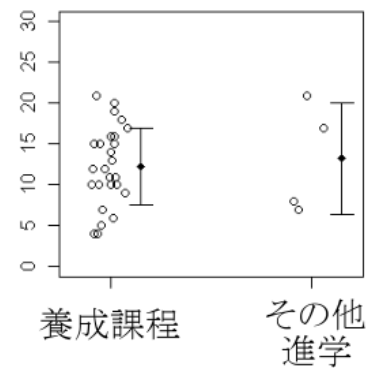




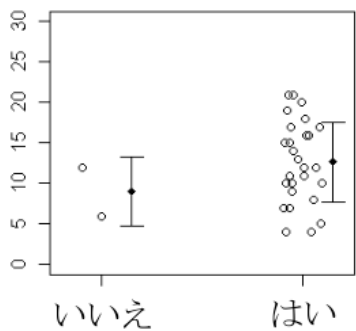
性別



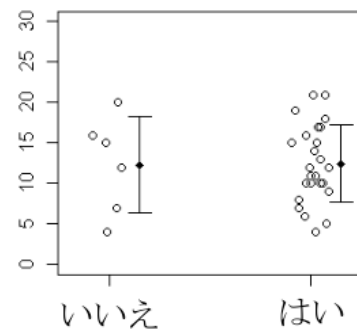
婚姻状態



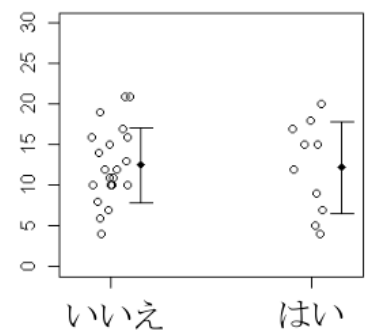
学歴



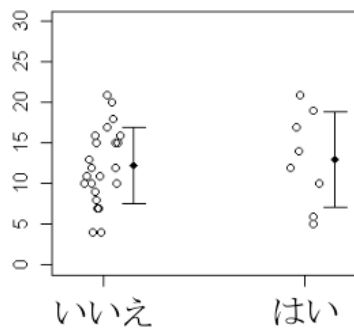
得意なものがある



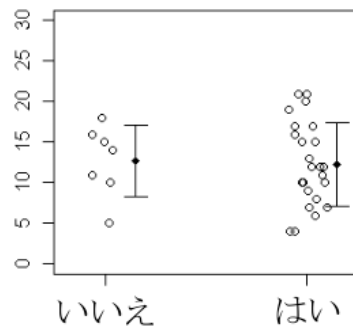
食事の余裕がある



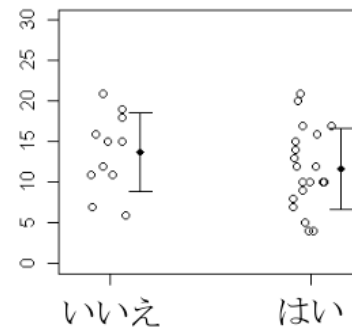
休暇は十分だ



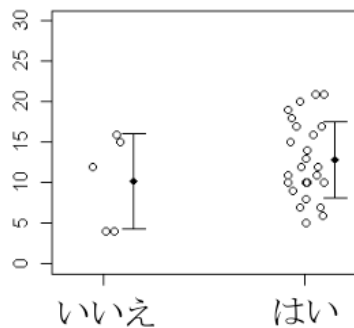
給料は正当な額だ



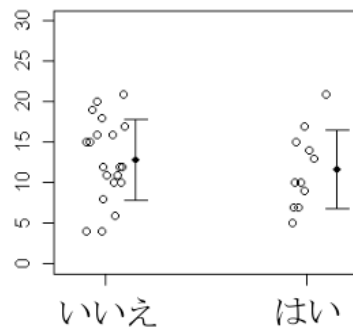
セミナーに参加できる



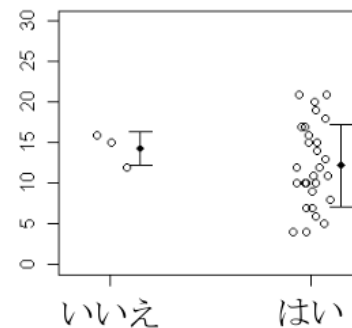
同僚が教えてくれる



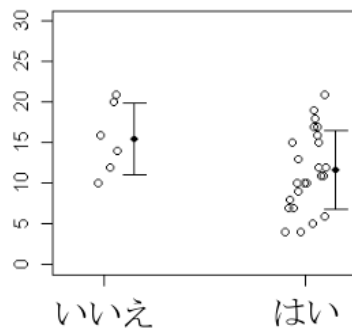
適度な責任が
課されている



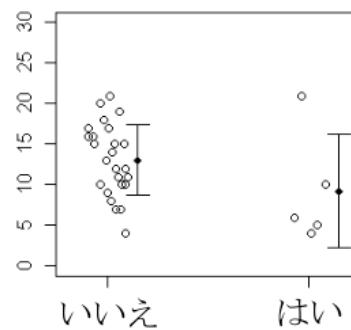
受けた教育との
ギャップはない



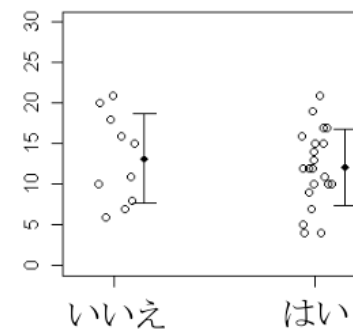
飼い主との
コミュニケーションは
苦でない



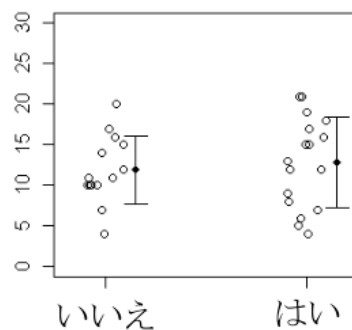
治療費や経費の
話も平気



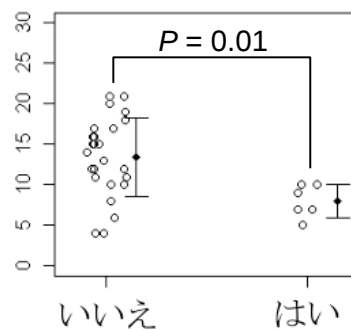
業務外の雑用は
多くない



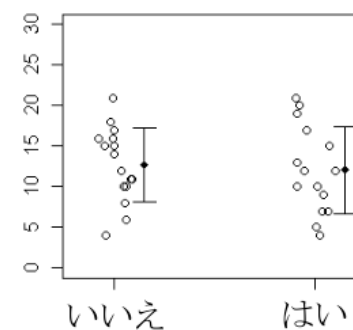
院内の人間関係は
良好



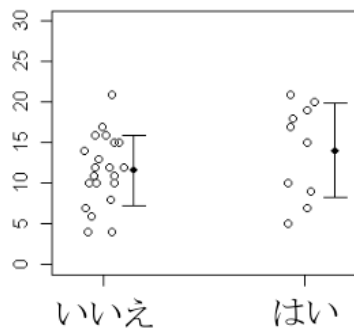
人手は十分にある



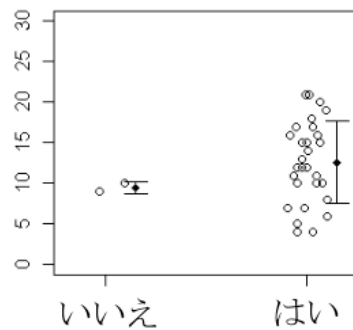
今の自分は理想の
動物看護師像そのもの



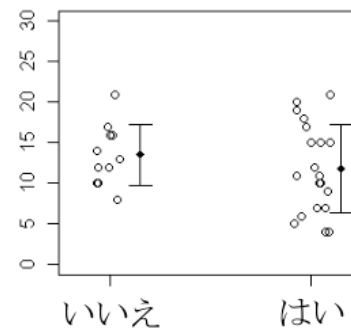
仕事を続けていく
自信がある



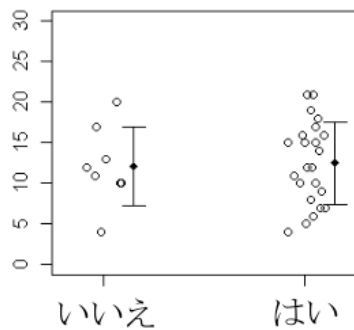
産休がとれる



レントゲン対策は
整っている



セクハラはない



職場環境は良い
(湿度など)

自由記述より

- ずっと続けていける仕事ではないと思い、将来のことや転職を考えだすと不安
- 家庭や育児との両立が難しく、家庭にしわ寄せがいき、家族に申し訳ない
- 子供の都合で休みをいただくことが稀にあり、他の方たちに迷惑をかけているのではないかと思うと辛い
- 仕事の相談が誰にもできないので辛い
- VTという立場から獣医師に対して意見しづらい
- 経営者とトラブルが絶えず、ミーティングが紛糾する

考 察

- 様々な要因が動物看護師のうつ発症に影響を及ぼしている
- 既婚者はストレスを負っていることが多い
- 家庭生活や将来への不安がストレスとなる
- 理想と現実との乖離はストレスとなる
- より適切な項目を選択した上で、調査の規模を拡大することにより、さらに適切な知見が得られると考えられる

結 論

- うつは動物看護職においても問題となっている
- 結婚などのライフイベントを考慮に入れ、動物看護師らのワーク・ライフ・バランスを推進する必要がある
- 理想と現実の差を埋めるために、教育段階からその対策に取り組んでいく必要がある